

## NVR-204 ファームウェアリリースノート

バージョン : NVR-204 1.3.21.79222

リリース日: 2015/03/25

### \*\*新機能\*\*

なし

### \*\*修正改良\*\*

1. 録画再生時（等倍速）に映像がフレームスキップする問題の改良
2. ディスプレイにて特定の操作後、ライブ表示に切り替えると映像が表示されない問題の修正

### \*\*バージョンアップ時の注意事項\*\*

ローカルマップ機能に独自のマップ画像をアップロードされている場合、ファームウェアをアップデートするとマップ画像が消える場合があります。バージョンアップ前にマップ画像をバックアップし、マップ画像が消えた場合は再度マップ画像をアップロードし直してください。

### \*\*制限事項\*\*

#### (1)ディスプレイ操作時

NVR にディスプレイを接続して操作を行う場合は、ライブ表示やライブシーケンス操作で正常に動作しない場合がありますので、各チャンネルの通信量が 2Mbps(2048kbps)以上になる様に設定してください。各チャンネルの通信量は以下の画面で確認頂けます。

#### ●ディスプレイ操作時

- ・チャンネル状態の表示画面を表示する
- ・チャンネルステータスの各チャンネルのビットレート欄を確認する

#### ●ブラウザ操作時

- ・カメラステータス画面
- ・各チャンネルのビットレート欄を確認する

## (2)操作全体

NVR で同時に処理が可能な総データ量は **32Mbps** となります。このため、1 チャンネルあたりのデータ量は最大で **5Mbps** になる様に設定してください。この **32Mbps** の対象となるデータ通信は以下の操作・処理となります。

- ・NVR がカメラから受信する映像データ
- ・NVR がブラウザへ送信するライブ映像のデータ
- ・NVR がブラウザへ送信する録画映像のデータ
- ・NVR がスマートフォンへ送信する映像(ライブまたは録画映像)のデータ
- ・ディスプレイ操作で表示する映像の(ライブまたは録画映像)のデータ
- ・統合管理ソフト(CMS)で表示する映像(ライブまたは録画映像)のデータ

同時に複数のパソコンからライブ映像や録画映像を表示する環境では、1 チャンネルあたりのデータ量を下げないようにしてください。1 チャンネルあたりのデータ量を下げer方法には、以下の方法があります。

- ・フレームレートを下げる
- ・解像度を下げる
- ・配信フォーマットを MotionJPEG から H.264 や MPEG-4 に変更する
- ・配信フォーマットが H.264 や MPEG-4 の場合、ビットレートモードを CBR に設定し、上限ビットレートを下げる

(3)ローカルモニタでは魚眼カメラは使用できません。

---